

PC換太MM-II

(Macintosh 用)

特徴

- ・1つのキーボード、マウス、ディスプレイを2台のMacintoshで共有
- ・キーボードによる操作(CTRL+OPTIONキーまたはF15キー)でマシンを切り換え
- ・電源の入っているマシンへ自動切り換え
- ・外部電源不要(Macintosh本体より供給)
- ・小型・軽量

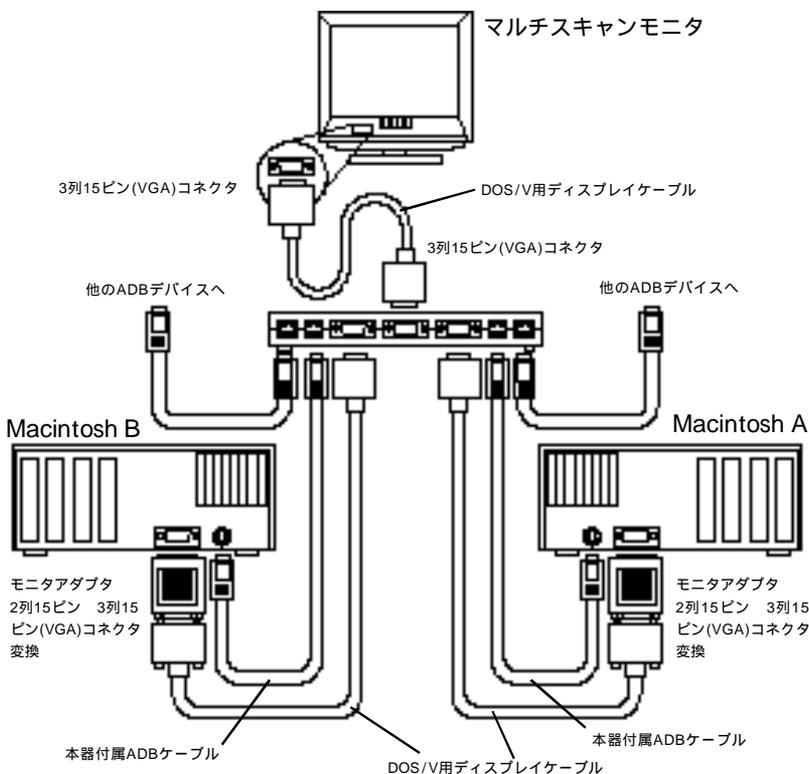


注意

本製品および接続する機器の「取扱説明書」をお読みのうえ、正しくお使いください。誤った取扱いによって、人が障害を負ったり、本製品またはお客様の財産に損害を与える可能性があります。

接続

1つのマルチスキャンモニター、キーボード、マウスを本器を通して2台のMacintoshへ接続します。作業する前に各機器の電源が切れていることを確認して下さい。



Macintoshの接続(A側・B側)

本器付属のADBケーブルを使いMacintosh本体のADBコネクタと本器のADBコネクタ(二つあるうちのどちらか一方)へ接続します。キーボード、マウス以外のADBデバイス(ハードウェアキー等)で切り替えたくないものがあれば同様に本器のADBコネクタへ接続しておきます。次にMacintosh本体ビデオコネクタと本器DISPLAY IN コネクタをディスプレイアダプタ(コネクタが3列15ピンのMacintoshの場合(B&W G3は不要))を経由して接続します。アダプタのディップスイッチはアダプタのマニュアルを御覧になり設定して下さい。

Macintosh用モニタ変換アダプタは必ずMacintosh本体へ接続して下さい。

キーボード・マウス・ディスプレイの接続

ディスプレイは市販のマルチスキャン(Macintosh 対応のもの)をご用意下さい。**Macintosh専用モニタ(純正13インチモニタ等)は使用できません。**ADBキーボードはApple標準キーボード、拡張キーボード、JISキーボードをサポートします。ADBケーブルで本器前面のコネクタへ接続して下さい(片側のみでも両側とも使用しても構いません)次に**使用するキーボードに合わせて本器裏面のディップスイッチを設定して下さい。**もしキーボードの種類が分かればキーの配列(JIS/ASCII)から判断して設定して下さい。もし上記サポート外のデバイスを使用して不具合が起きる場合は個別起動モードで使用して下さい。マウスについてはApple ADBマウスIIのみをサポートします。サポート外のデバイスを使用して不具合が起きる場合は個別起動モードで使用して下さい。

使用するデバイスによっては使用できない場合があります。

ディップスイッチの設定

使用するキーボードや環境に合わせてディップスイッチの設定を行って下さい。

スイッチ1	使用するADBキーボードの種類の設定
	OFF Apple JIS キーボード(JIS 配列)(出荷時設定)
	ON Apple標準/拡張キーボード(ASCII配列)
スイッチ2	切り替えキー設定
	OFF CTRL+OPTION(出荷時設定)
	ON F15(pause) ※Adjustableキーボードでは使えません!
スイッチ3	起動時動作設定
	OFF A,B 同時起動モード(出荷時設定)
	ON A,B個別起動モード
スイッチ4	マウス設定
	OFF 切り替え時にマウスを初期化する(出荷時設定)
	ON 切り替え時にマウスを初期化しない

同時起動モードは、2台のMacintoshの電源を順序に関係なく同時に投入することが可能なモードです。 PC換太がキーボード・マウスが接続されない側のMacintoshに対しキーボード・マウスのエミュレーションを行うことでシステムへデバイスを認識させ起動時間が短縮できます。

個別起動モードは片側ずつ起動を行いシステムの起動終了を待ってから切り替えを行うモードです。 PC換太がエミュレーションできないデバイスを接続する場合に使用します。

PowerMacintosh G3 でお使いの方へ(重要)

PowerMacintosh G3 やその他のMacintosh の環境において、ADB (AppleDeskTopBus)の初期化が2度以上起こることがあります。この場合PC換太の仕様上、同時起動モードでのデバイスエミュレーションが正常に行われません。個別起動モードでお使いになるか、同時起動する場合は必ずG3側から起動して下さい。また、B&W G3では起動時にディスプレイ接続チェックが行われるため、G3側から起動しないと画面が表示されません。

使用方法

一度すべての接続が正しいか確認を行ってから電源を入れて下さい。Macintosh Aはキーボードパワーキー、**Macintosh BはPC換太本体前面パワーキー(白いボタン)を押して起動します。パワーキーが使えない機種はMacintosh本体の電源スイッチを押して電源を入れます。電源投入後はそれぞれ選択、非選択側Macintoshに対応します。**本器は電源が投入されるとそのマシンを判断し電源の入っている方のマシンを自動選択します。切り換えは選択キーを押すことでキーボード、マウス、モニタがMacintosh AとMacintosh Bとに交互に切り換わります。電源の入っていないマシンへは切り換わりません。選択した側のマシンの電源をオフした場合は電源の入っているマシンへ切り換わります。また、本器の仕様上最初の電源投入時には以下のような制約があります。

1.同時起動モードの場合

キーボード、マウス、モニタは最初に電源をONしたMacintoshへ切り換わります。後からもう一方のMacintoshの電源を投入した場合も選択状態は変わりません。A,B側共にシステムのキーボード・マウスの認識が終わった時点で切り換え可能となります。デバイスの認識は選択側についてはマウスポインタが操作可能になった時点で、非選択側については選択LEDが点灯→消灯→点灯となった時点で終了します。同時起動は非選択側のMacintoshに対してはPC換太がADBデバイスの存在をエミュレーションしA,B側マシンを同時起動できるため起動時間の短縮が計れます。

エミュレーション可能なデバイス

- Apple標準キーボード,Apple拡張キーボード,AppleJISキーボード
- AppleDesktopBus MouseII

注)本器はApple標準キーボードを拡張キーボードとして認識させます。使用するデバイス(互換品など)やソフトウェア、環境によっては使用できない場合があります。その場合は個別起動モードを使用して下さい。

2.個別起動モードの場合

キーボード、マウス、モニタは最初に電源をONしたMacintosh側へ切り換わります。後からもう一方のMacintoshの電源を投入した場合はそちら側へ切り換わります。**ただしシステムがデバイスの認識を終了する前に切り替えると不具合がおこる可能性がありますので必ずOS起動後に切り替えるようにして下さい。**このモードはPC換太が同時起動モードでエミュレーションできないでデバイス(AppleAdjustableキーボードやタブレット等)を接続する場合に使用します。

特殊なデバイスの使用について

PC換太で接続のエミュレーションができないデバイスを切り換えて使用する場合は、**必ず個別起動モード**を使ってください。また、切り換える2台のMacintoshのそれぞれに対して使用するデバイスのドライバ、ソフトウェアなどをインストールし**全く同じ環境**になるように注意して下さい。

使用するデバイスの組み合わせによってはキーボードのデバイスアドレスが変更されてしまい切り換えができなくなることがあります。

エミュレーションできないデバイスの使用例

タブレット(WACOM intuos i-400 ADB)

個別起動モードでドライバをインストールしてご使用下さい。

注)切り替え、電源 OFF 時はペンをタブレットから放して下さい。

終了時について

すべて作業が終了しマシンの電源を切る場合は、まず選択側のマシンを終了させ電源を切ります。電源が切れると自動的に電源の入っているマシンへ切り換わるので、同様に終了処理を行って電源を切ってください。**もし、選択されていない側のマシンから電源を切った場合、誤動作する恐れがあります。**

御使用上の注意点

- 切り換え前のキーボードLED の状態は復帰されません。対応させるためにはCapsLockキー等を操作して下さい。
- ディスプレイの解像度は1280 x 1024 ドットまでを推奨します。**それ以上では、動作保証しません。ディスプレイの信号は周波数が高いため、なるべく短い高品質なケーブルを使用して下さい。
注)使用機器・ケーブル・環境により本来の性能を引き出せない場合があります。
- 使用中にマウスまたはキーボードを抜かないで下さい。
- キーまたはマウスボタンを押したままの状態では切り換えしないで下さい。
タブレットはペンをタブレット本体から離し、ポインタが動かないように操作して下さい。
- 接続は必ず全ての機器の電源を切った状態で行って下さい。突入電流、ノイズ等より周辺機器、パソコン本体が故障する恐れがあります。
- 本器には指定機器および指定ケーブル以外は絶対に接続しないでください。接続した場合のトラブルは一切その責を負いません。
- 本製品は、室内で使用することを前提に設計されていますので、屋外や水のかかるような環境でのご使用は避けて下さい。
- お客様自らが本体を分解、修理、改造することは絶対にお止め下さい。保証の対象外になるばかりか火災発生等、思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 品質管理には万全を期していますが、万一本製品から異臭がしたり煙が出た場合は、ただちに全ての電源を切り、お買い求めの販売店もしくは当社までご連絡ください。
- 本器を使用した場合に生じた損害についての保証は一切致しかねます。

仕様

ディスプレイコネクタ:	高密度DSub3列15ピン(VGAコネクタ)×3
キーボードマウスコネクタ:	ミニDIN4ピン×2
ADBコネクタ:	ミニDIN4ピン×4
コントローラ:	8ビットワンチップマイコン
信号切り換え部:	半導体スイッチ,リレー(ADBパワーオン信号)
キーボード:	Apple標準,拡張JISキーボード
マウス:	AppleDesktopBusMouse I,II
対応Macintosh:	ADBを持つApple 製Macintosh/Power Macintosh (PowerBookシリーズを除く)
対応OS:	MacOS8.1/8.5/8.6
電源:	Macintosh本体より供給
外形:	196(W)×30(H)×87(D)mm(突起部含まず)
重量:	約300g
付属品:	ADBケーブル 2本 ディスプレイ接続ケーブル 2本 取扱説明書兼保証書 1部

保証について

- 保証書は保証規定をよくお読みのうえ保管しておいてください。
修理の際提示していただきます。
- 保証期間はご購入の日より1年間です。
- 保証期間経過後の修理については、販売店または(株)システムサコム販売までご相談ください。有料にて修理いたします。
- 本製品および本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権その他の権利の侵害等については、当社はその責を負いません。

保証規定

- 保証期間内にお客様の正常なご使用状態において万一故障した場合、保証規定に従い無料で修理致します。ただし保証の対象となるものは本製品のハードウェアに限らせていただきます。
- 保証期間内でも次の場合は有償修理になります
(1)本保証書のご提示がないとき
(2)本保証書の所定事項の未記入、字句を書き換えられたもの、および販売店の表示のないとき
(3)火災・地震・水害・落雷・移動時の落下など、お取り扱いによって発生した故障および損傷
(4)御買い上げ後の輸送・移動時の落下など、お取り扱いが不適当なために生じた故障および損傷
(5)取扱説明書に記載の使用法および注意に反するお取り扱いによって発生した故障および損傷
(6)部品の取り外しおよび再挿入、指定以外の部品を使用したことにより生じた故障および損傷
(7)他の機器との接続が原因で本製品に生じた障害および損傷
(8)指定のサービス部門以外で修理・改造されたとき
- 修理を依頼される場合は、お買い上げの販売店まで本保証書を添えてご持参下さい。
やむをえず送付される場合は送料をご負担願います。
- 本保証書は本製品が国内で使用される場合に限り有効です。
- 本保証書は再発行しませんの必ず保管しておいてください。

保証書	
品名・型名	PCS-02MM-II(PC換太MM)
保証期間	ご購入日から1年間
お買い上げ日	平成 年 月 日
販売店名	住所・店名・電話番号

PCS-02MM-II取扱説明書

発行日1999年11月/発行責任者システムサコム工業(株)

Printed in Japan



システムサコム工業株式会社 <http://www.sacom.co.jp>
〒130-0021 東京都墨田区緑1-22-5 州ビル4F
TEL:03-6659-9261 FAX:03-6659-9264

SYSTEM SACOM INDUSTRY Corp.